

12月23日のウクライナ情報

安齋育郎

●プーチンは戦争に疲れていない:ロシアはウクライナですべての軍事的目標を達成するだろう(2022年12月22日)

ロシアのプーチン大統領は、軍指導部に対する演説で、モスクワがウクライナにおけるすべての軍事的目標を達成するとの確信を表明した。

ロシア国防省の拡大会議では、ロシア軍に勝利のために必要なすべての手段を提供することを宣言した。さらにプーチンは、財政的な限界はなく、現在10カ月に及ぶウクライナとの紛争において、ロシアは特にドローンの重要性を考慮しなければならないと強調した。「すべての兵士がドローンから情報を得る機会を持たなければならない」とプーチンは言った。

また、ロシアのセルゲイ・ショイグ国防相は、ロシア軍の大幅な増員を発表した。兵士の数を150万人にまで増やしたいと考えている。これは35万人の兵士の追加増加に相当する。



※安齋注:ウクライナ側が嫌がりそうな情報ばかりですね。①プーチン元気に、全目標達成の確信、②必要なすべての手段提供、③財政に制限なし、④ドローンの活用、⑤兵士を150万人に増強。ウクライナ側は主としてアメリカの禰でしか相撲が取れずに、大統領がおねだり旅行をする状況だから、勝負は自ずから見えてます。

●イギリスで救急隊員がストライキ(2022年12月21日)

イギリスでは、看護師のに続き、数千人の救急隊員がストライキ。メディック、ドライバー、ディスパッチャー。この30年間で最大の緊急サービス・ストライキになると言われている。

<https://twitter.com/i/status/1605465776789458944>



●ゼレンスキー大統領、アメリカへ(2022年12月20日)

AP通信によると、Volodymyr Zelenskyyは米国に到着し、彼の飛行機はワシントン近郊の空軍基地に着陸したとのこと。

ツイッターユーザーはすでにミーム(情報・概念・文化など)や皮肉なコメントでウクライナの指導者の訪問に反応しています。

結構きつい風刺作品ですね。これぐらいの風刺、日本でも受け入れられますかね？バイデン一家は「犯罪一家」、ゼレンスキーは「戦争犯罪人」扱いです。しかも、ゼレンスキーは「嘘つき詐欺師」と書いてあります。次頁の絵では、ゼレンスキー「金くれ虫」に、サンタ(アメリカ)が「ちょっと待って」という手つきですね。

ゼレンスキーは更なる「援助」の到着に備えている

Zelensky preparing for arrival of more "Aid".



Tash 2.0
@tashlutsa2

#Biden getting ready for #Zelensky

#BidenCrimeFamily #ZelenskyWarCriminal #FJB

ゼレンスキーに備えるバイデン
バイデン犯罪ファミリー、ゼレンスキー戦犯



Delores Hicks
@DeloresHicks17

Zelensky, the lying con artist, is in DC today asking for more of our taxpayer money to launder for Dems.

嘘つき詐欺師ゼレンスキーは、今日ワシントン DC に来て、民主党の資金洗浄のために納税者のお金をもっと要求しています。



Naybex @Ali73081197 · 1 мин

His master is calling him, zloonsky arriving in the us. #Zelensky #usa

主人が呼んでいる、ズルーンスキー米国到着



カネを持ってきたというより、金をもってバイバイの感じ

●プーチン大統領の12月21日演説(2022年12月21日)

ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は 21 日、国防省幹部らとの拡大会合で登壇し、過去にはプ

プーチン大統領が自ら「ロシアと西側諸国を近づけようと試みた」が、西側はそれに反して「ロシアを破壊しようとした」との認識を示した。

プーチン大統領は、ソ連崩壊後のロシアは西側世界の一員になろうとしたが、西側諸国は「ロシアを待っていなかった」との認識を示したうえで、次のように述べている。

「私自らも(編注:西側諸国に)近づこうと試みたものの、西側諸国は我々の努力や試みに反する行動をとった。ロシアを破壊するためにカフカス地方の国際テロリストを利用したのもその一部だ」

そのほか、プーチン大統領の主な発言は以下の通り。

特殊軍事作戦、ロシア軍について

ロシアに対して NATO のほぼ全加盟国の軍事ポテンシャルが積極的に使われている
動員された 30 万人のうち 15 万人は現在、射撃場で、あとの半分は対ウクライナ特殊軍事作戦のゾーンで訓練中。

早期にも新型の大陸間弾道弾ミサイル RS-28「サルマト」が配備される

西側諸国・ウクライナとの関係について

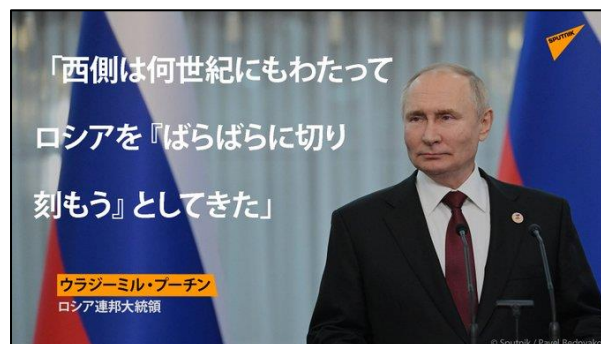
ロシアの戦略的敵の目的は、ロシアの崩壊。彼らにとってロシアは大きすぎる。

ロシアの地政学的敵は、ウクライナを含む旧ソ連世界で「洗脳」に成功した。

ウクライナ民族は兄弟民族であるとみなしてきたし、今でもそう思っている。

ロシアは長年にわたりウクライナと友好関係を築こうとしたが、何も効果がなかった。

ウクライナで起こっていることは悲劇だ。だがこれは第三国の政策による結果だ。



●タッカー・カールソンを引きずり下ろせない訳(2022年12月20日)

タッカー・カールソン © Janos Kummer / Getty Images タッカー・カールソンを、確立されたメディアが引き下ろすことができない巨人であり続ける理由 @ロバートブリッジ

著者:ロバート・ブリッジ

ロバート・ブリッジは、アメリカの作家、ジャーナリストである。著書に「アメリカ帝国の真夜中、企業とその政治的下僕はいかにしてアメリカン・ドリームを破壊しているのか」(DreamDream. 「Midnight in the American Empire, How Corporations and Their Political Servants are Destroying the American Dream」(邦題:『アメリカ帝国の夜明け』)がある。

本文

タッカー・カールソンは、なぜ既存メディアが引きずり下ろせない巨人であり続けるのか? Fox ニュ

ースのスターは、何百万人もの人々の懸念を代弁している-それは、一部の人々が聞きたくないと思っているアメリカの一部である。

ロバート・ブリッジ ロバート・ブリッジは米国の作家、ジャーナリストです。著書に「アメリカ帝国の真夜中、企業とその政治的下僕はいかにしてアメリカンドリームを破壊しているのか」(Midnight in the American Empire, How Corporations and Their Political Servants are Destroying the American Dream) (『アメリカ帝国の夜明け』)がある。

米国メディア王国のジャングルは、しばしば主流メディアと呼ばれる親エスタブリッシュメントの巨大組織と、タッカー・カールソンという 2 つの強力な存在に分かれているように見える。

そして、あらゆる見込みに反して、カールソンが勝っているように見える。フォックス・ニュースの司会者タッカー・カールソンほど、既存メディアにとって嫌な存在、恐ろしい存在(人による)を挙げるのは、暴れん坊のドナルド・J・トランプを除けば難しいだろう。

この人物は、5 月にニューヨーク・タイムズ紙が 2 万語のヒットピースで彼の人格を暗殺するために大枚をはたいたほど脅威とみなされている。皮肉なことに、この記事は裏目に出て、アメリカ人がもはや「レガシー・メディア」を信用しなくなった理由を暴露してしまった。

グレイレディの口から直接「『タッカー・カールソン・トゥナイト』は支配的な物語を提示し、アメリカの人種差別を再構築して、白人を抑圧されたカーストとして提示してきた。

支配階級は、フェンタニルなどのオピオイドを使用して、遺産を持つアメリカ人を中毒にして殺し、反白人人種主義で偏屈者とし、フェミニズムで自尊心を低下させ、移民で政治力を低下させるのである。

共和党のエリートは、ありえないことだが、民主党が投票箱で必要とする有権者を輸入する手助けをしているのである。

カールソン氏は、アメリカは『支配する人々に対して長期的な義務を感じない傭兵によって支配されている』と視聴者に語っている」。

こうした感情は、この記事では荒唐無稽な陰謀論として手放しで否定されているが、ジャーナリストや政治家に対する信頼がいまや史上最低のレベルにある何千万人も平均的アメリカ人に共有されているのだ。

「タッカー・カールソン・トゥナイト」はケーブル・ニュースの中で 2 番目に視聴率の高い番組である。9 月、午後 8 時のオピニオン・ニュース・トーク番組の平均視聴者数は 309 万人だった。

彼の提起する懸念は、毎夜、多くのアメリカ人の共感を呼んでいる。彼の仕事を攻撃し、否定するならば、それは、共感する何百万人もアメリカ人を攻撃することになるのだ。

まるで、既成のメディアがこうした懸念を消し去りたいと望んでいるかのように、国民はそれに気付いている。ギャラップ社の最近の世論調査では、メディアが「完全に、正確に、公平に」報道していると信頼しているアメリカ人はわずか 34%であることが明らかになった。

民主党の 70%、共和党の 14%、無党派層の 27%が第四の機関を信頼していると答えているのである。当然ながら、この 70%の民主党議員は、自分たちの大切な信念体系が毎晩カールソン氏によって暴露され、嘲笑されることを喜ばないし、彼らの忠実なメディアも民主党のために働く政治的プロパガンダマシンとして暴露されることを望まないのである。

例えば、最近の「ブラック・ライブズ・マター」運動について考えてみよう。

ジョージ・フロイドが白人警官に殺害された事件を受けて、全米がリベラルの狂気に包まれ、正気を失った。海岸から海岸への暴動が発生し、アメリカ国民はこの暴力的な運動(その後、豪邸を買うために組織を設立した人々を除けば、間違いなく一人の黒人も助けたことのない詐欺であることが明らか

になった)に賛同するだけでなく、警察への資金援助を支持することが期待されたのである。

カールソンは、それを全く信じていなかった。「私たちが生きているこの瞬間には、いろいろなことがあるかもしれないが、それは間違いなく黒人の命についてではない」とカールソンは言った。

「このままでは捕まってしまう」ということを忘れないで欲しい。「暴徒の怒りにさらされたことのある人なら、誰でもその気持ちを知っている。」と彼は続けた。

「スズメバチに群がられたようなものだ。頭が働かなくなる。誘惑に負けてパニックになる。でも、パニックになってはいけない。でも、パニックになっちゃいけないんだ。彼は経験からも語っていた-- 2018 年当時、アンチファ(=反ファシスト)のデモ隊が彼の家を包囲し、家族を脅し、財産を破壊したのだ。

メディアの荒野におけるカールソンの孤独な声は大規模な反発を呼び、BLM 運動(=Black Lives Matter 運動)にも数十億ドルの多額の投資をしている企業が彼の番組から広告を引き揚げ、既存メディアのショック部隊はすぐに Fox News のホストを冷血な差別主義者として描き出した。

幸いなことに、カールソンには彼のメッセージに賛同する保守層が十分にあり、彼はその猛攻撃を生き延びることができた。

最近では、カールソンは、現在ウクライナとの激しい紛争に巻き込まれているウラジーミル・プーチンを「支持」しているとして、リベラル派の非難を浴びることになった。チンギス・ハーン以来、政治の世界でロシア大統領ほど悪者にされてきた人物はいないのだから。

カールソンは視聴者に簡単なことを尋ねた。「プーチンがこれほど直感的な憎しみの対象となるようなことを、個人的に行ったかどうかを考えてみてください」。「かなり深刻になってきているので、自分自身に問いかけてみる価値はあるかもしれない、これは本当は何なのか？なぜ私はプーチンがそんなに嫌いなのか？プーチンは私を人種差別主義者と呼んだことがあるか？プーチンは私に人種差別主義者と言ったか？」

カールソンは、ウラジーミル・プーチンが世界的な悪役として支持されていることについてよく考えるようリスナーに求めただけでなく、アメリカ国民の真の敵は、他ならぬウラジーミル・ゼレンスキー大統領だと示唆した。

彼はそれ以外の点では、あらゆるメディアから熱烈な賞賛を受けている。米国とメキシコの国境が大きく開かれ、インフレが制御不能に陥っているときに、カールソンだけが、他の何百万ものアメリカ人も疑問に思っていることを、大胆にも問いかけた。

「なぜ我々はまだこれに資金を提供しているのだろうか？ロシアによるウクライナでの特別軍事作戦が始まって以来、アメリカと EU の同盟国はキーウに約 1260 億ドル相当の援助をしてきた。

これはウクライナの 2020 年の GDP 全体にほぼ等しい数字である。そして、日を追うごとに、ウクライナの指導者はさらなる要求を突きつけているようだ。ウクライナに送られる資金の多くは兵士の手に渡らないと言われているが、無制限の支出によるインフレ圧力に対処しなければならないのはアメリカ国民である」。

このニュースに対して、ゼレンスキーはどう反応したのだろうか？

カールソンは、ウクライナの指導者の言葉を引用した。「インフレなど何でもない。誰がインフレのことなど考えているのか。そんなことは二の次だ」。二の次とは何かって？国からコートダジュールに富を流出させるようなものか？「ウクライナの指導者たちは、もうそれを隠すこともなく、我々を完全に軽蔑している」とカールソンは言う。

「彼らはただ私たちのお金が欲しいだけなのだ。米国を少しも気にしていない。これは民主主義国が

連帯しているのではない。これは詐欺だ」と。

ところで、反ロシアの生々しいプロパガンダに汚染されていないという点でユニークなカールソンの仕事に対して、ロシアのテレビが賞賛の意を示したのは不思議ではないだろう？

今週、ニューヨーク・タイムズ紙は、カールソンをはじめとする米国の保守派の声が、ロシアのさまざまなニュース放送で「内部ニュースのまとめ役、原稿、放送の常連」になっているとする記事を掲載したばかりだ。

どうやらこれは、クレムリンと共和党の間に存在する極悪非道な関係を改めて示すものだったようだ。実際には、リベラル派がいかに必死になってカールソンとクレムリンを標的にし、民主党の政界進出を手助けしようとしているかを示しているに過ぎない。

既成のメディアもそのように話し始めれば、間違いなく視聴率は地下から上がるだろう。しかし、過去 20 年間、アメリカの戦争で気に入らないものを報道したことがないので、少なくとも今のところ、国が失うのは数十億ドルの税金だけであるアメリカの代理戦争を批判することは絶対にないだろう。

結局のところ、温情主義者の多くが信じたいように、ウクライナはソ連を崩壊させたと言われるロシアの「アフガニスタン戦争」かもしれないし、アメリカがベトナム戦争で受けた屈辱的な敗北に相当するのかもしれないのだ。

いずれにせよ、防衛産業は莫大な利益を得ることができるのだから、そんなことはどうでもよい。彼らが好むと好まざるとにかかわらず、タッカー・カールソンは、何百万人ものアメリカ人の真の懸念を代弁する、率直で正直な稀有な声である。

<https://t.co/GHgzQhYFko>



●プーチン大統領の弁(2022年12月20日)

「どんな国にもナショナリストはいるし、私たちにもいる。しかし、私たちはネオナチズムやファシズムと戦っているのだ。ウでは国策としてやっているのに、みんな見て見ぬふりをしている」

「ナショナリズムは少しならいい。彼らは国益のために戦っているが、それがファシスト、ネオナチのイデオロギーに基づいて行われていることに誰も気づかない。首都を含む主要都市の中心部では卍が身につけられており、それが正しいと思われている」

ヒトラーも演説は上手かった。

恐ろしいことが起きているのにメディアも国も見て見ぬふりなんて、21世紀になっても戦争がなくならないのはメディアが機能していないからなのか？

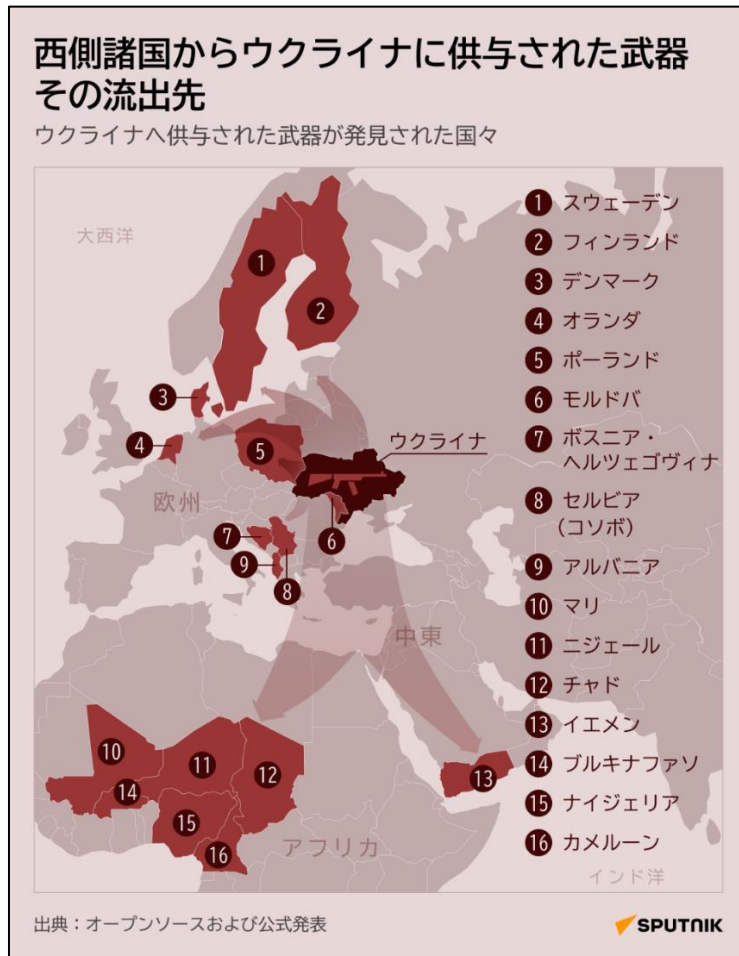
<https://twitter.com/i/status/1605640293553819648>



※投稿者コメント：プーチン氏の言葉はプロパガンダでは無い。
 ウクライナがネオナチでありナチスである事はウクライナ人たち自身の投稿動画を見れば一目瞭然です。2022年の春までは世界中のメディアがその事を知っていましたが、今はその事に口をつぐんでいます。

●ウクライナに供与された武器が発見された国々(2022年12月20日)

欧州刑事警察機構は今夏、ウクライナに供与された武器が犯罪者の手に渡る恐れがあるとの懸念を表明した。ナイジェリアの大統領は、これらの武器のかなりの部分が西アフリカや中央アフリカの地域に流入しており、それらの武器が犯罪と結びつく懸念があるとの認識を示した。スプートニクは、ウクライナに供与された武器が発見された国々を示したインフォグラフィックを作成した。



●ウクライナの示す「和平の提案」が非現実的であるその理由(Sputnik, 2022 年 12 月 21 日)

<https://sputniknews.jp/20221221/14328103.html>

2022 年 2 月 24 日のウクライナにおけるロシアの特殊軍事作戦開始以来、ロシアとウクライナの実施した交渉は第 5 ラウンドまで達したが、いずれも手ごたえのある結果には至らず、最終的には 5 月で袋小路に嵌まった。ウクライナのゼレンスキー大統領は先日、ロシアとの和平交渉の可能性について矛盾する発言をいくつか行い、ウクライナ紛争を終わらせる条件を列挙した。ゼレンスキー政権の示す交渉の条件はなぜ現実からほど遠いのか、スプートニクが検証を試みた。

ウクライナの国境線を 1991 年の段階まで戻す？

ゼレンスキー大統領は英国紙からの取材に、戦闘行為を停止する唯一の方法は交渉のテーブルにつくことであり、それはまさに 1991 年の時点でのウクライナの国境までロシア軍を戻すことだと語った。

「もし彼(ロシアのプーチン大統領)が今、1991 年の時点の国境まで撤退させるなら、外交(で解決できるチャンス)が可能になるだろう」ゼレンスキー大統領はこう語った。

これに対して、ロシアのセルゲイ・ツェコフ議員は記者団を前に、ゼレンスキー大統領の要求は一義的ではないとし、その理由として 1991 年の時点ではまだソ連邦は存在していたとして、次のように話している。

「ゼレンスキーは、1991 年はソ連邦が存在していたということを忘れたのか。彼が言いたいのはロシア連邦軍をソ連の国境まで撤退させるということだろうか？ いや、彼が指しているのは独立したウクライナの国境のことだろうが、1991 年の時点ではウクライナはまだ自国の国境を画定していなかった。ロシア連邦とウクライナの間为国境線の画定は長期にわたったし、ケルチ海峡について言及するならば画定はとうとう終わらなかったと言える。国境に関する現実に関して言えば、これが現況なのだ」ツェコフ議員はこう語っている。

「和平のための 3 つのステップ」

ゼレンスキー大統領は 12 月の G7 サミットで加盟国に対し、自分の考える、ウクライナに平和をもたらすための 3 つのステップを挙げた。

1.ゼレンスキー大統領は何よりもまず、最新の戦車、大砲、砲弾および長距離ロケット砲をウクライナに供給するよう執拗に迫っている。

2.ゼレンスキーは第 2 のステップとして、2023 年度のウクライナ財政、エネルギー、社会の安定を達成するための支援を挙げ、特にウクライナのエネルギーセクターでストライキが起きることのないよう、十分な保障が必要だと語っている。

3.ゼレンスキーの言う第 3 のステップとは、彼の考える「平和公式」の実現と、「文書の項目をいつ、どのようにして実現化するかを定めるための」平和のグローバルフォーラムの召集だという。

ロシア大統領府のドミトリー・ペスコフ公式報道官はこれへの回答として、ゼレンスキーに対し、「先日の住民投票の結果、形成された現実」を踏まえるよう呼びかけ、今年 2022 年末までにウクライナからロシア軍を撤退させるなど「到底ありえる話ではない」と付け加えた。

ペスコフ報道官はウクライナから離脱したドンバスおよびヘルソン州、ザポロジエ州について、新たな構成体がロシアに編入された事実を「考慮すべき」であり、ゼレンスキー大統領の挙げる和平への 3 つの条件は戦闘行為をただ引き延ばすだけだと指摘した。

またウクライナの言う「平和公式」については、ゼレンスキー大統領は 11 月の G20 サミットにオンラインで参加し、行った演説で発言している。

平和公式は 10 段階のステップから成り立っており、ウクライナ政権はこれで自国の平和は達成されると断言している。その中には戦闘行為の停止およびロシア軍のウクライナ領域からの撤退、ウクライナの原子力、エネルギー、食糧の安全保障が挙げられた他、ゼレンスキー大統領はザポロジエ(宇:ザポリージャ)原発の「放射能の安全保障」を復興させ、ロシア産エネルギー資源の上限価格の設定と穀物取引の拡大を呼びかけた。

ツェコフ議員は、ウクライナの提示した「平和公式」にはロシアへの受け入れがたい要求が含まれていると強調し、さらに公式には、ウクライナ大統領にはこの現状で重大な決定を下す権限はなく、関心もないことが記されていると付け加えた。ツェコフ議員は、ゼレンスキーが出した条件は米国や EU のメンバーらとは異なり、ゼレンスキーがウクライナの紛争解決には何の関係もないことを示した点についている。

ロシアとは一切交渉しない

10 月 4 日、ウクライナ大統領のウェブサイトは、ウクライナ国家安全保障・国防会議の「ロシアのウラジーミル・プーチン大統領との交渉を不可能」とする決定を認める大統領令を発表した。

これについてロシア大統領府のペスコフ公式報道官は記者団の前で、ロシア側は、現ウクライナ大統領の立場が変わるを待つか、または「ウクライナ国民の利益に従って自分の立場を変える」新たな大統領の出現を待つとコメントした。

クリミア問題

5月、ゼレンスキー大統領はロシアは「2 月 24 日の時点の国境まで」撤退し、和平交渉の条件としてクリミアをウクライナに「返還」すべきと語っていた。

「領土保全の回復は我々の課題では最優先だ。我々は制裁の形でパートナーらから支援を得ており、武器を供給されている。(…)我々の最大の課題は領土保全の回復なのだ。これは後日、別の交渉の形に膨らむ可能性がある」ゼレンスキー大統領はこう語っている。

クリミアは 2014 年 3 月に実施された住民投票の結果、クリミアの有権者の 96.77%および セヴァストポリの住民の 95.6%がロシアへの再編入を望んだため、ロシアの構成体となった。クリミア自治体は 2014 年 2 月にウクライナで起きたクーデター後、この住民投票 を実施した。一方でウクライナは未だにクリミアを自国の領土と主張しつづけて おり、現在の状態をロシアによる一時的な占領と位置付けている。これに対してロシア指導部は、クリミア住民による住民投票は国際法および国連憲章に完全 な形で則り、民主主義的手段で実施されており、ロシアへの再編入は投票によって選び取られたという立場を何度も 繰り返してきた。プーチン大統領はクリミア問題は「完全に解決済」と指摘している。



世界は、米国がウクライナ紛争を挑発したと確信している＝露ラブロフ外相(2022 年 11 月 15 日)